

中郷中学校だより



躍進



令和2年度中郷中スローガン 伝えよう！～発見・感動・展望～

きらきら笑顔 部活動体験より

学校ホームページ：URL：www.nakago-j.jorne.ed.jp（公開中）発行 令和2年10月19日

幸福度と自己有用感

校長 西條 正人

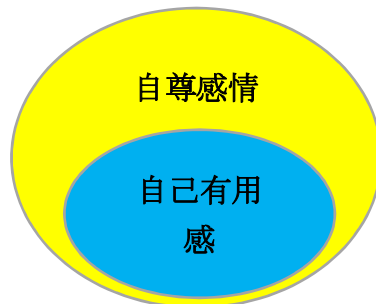
10月に入り、吹く風の感じが心地良さから肌寒さに変わってきました。学校では、コロナウイルス感染症のために、いろいろな活動を中止もしくは延期してきました。そのため1学期は少し余裕をもって動けたのですが、今学期は延期した行事が入ってきたこともあり、少しずつ以前の忙しさが戻ってきたように感じます。皆様においても、いろいろなことが緩和されてきたことで、生活リズムに変化が生じてきたのではないのでしょうか。

さて、少しずつこれまでの生活に戻ろうとしている中で、改めて「今の自分や、周りの人々は幸せを感じているのだろうか」と、問い直してみました。

以前、内閣府が「幸福感（度）」に関する調査を行い、「自己有用感が低いと現在の幸福感が低い」という結果を発表しました。大人になってから自己有用感が得られないと、自分は幸せではないと感じるようになるため、10代のころの自己有用感の獲得が重要であるとも述べています。

◇では、「自己有用感」とはどういうものなのでしょう？◇

「自己有用感」とは、集団で自分が役立つ人間だと思う感情のことで、「感謝してもらえた」「喜んでもらえた」のように、何らかのかかわりがある他者の存在なしでは得られない感情です。「自己有用感」を獲得することは、自分は価値のある人間だということを理解する「自尊感情」を高めることにもつながると言われます。



自己有用感とはどんな感情？

- ・ 誰かの役に立っていると感じる
- ・ 誰かに必要とされていると感じる
- ・ 誰かが自分に関心をもっていると感じる
- ・ 自分に何らかの役割がある
- ・ 自分の存在を認めてくれる人がいる
- ・ 自分がいないと困る人がいる

自己有用感が低いと・・・

- ・ 自分はダメな人間と感じる
→自分の良さがわからない
→規範意識が低下する
- ・ うまくいかなないとすぐにあきらめる
→何事にもやる気をもてない
- ・ 幸せを感じられない

◇この「自己有用感」を高めるには、どのようなことが大切なのでしょう？◇

- ・しっかりと愛情を示す→言葉やスキンシップで愛情を示すことで、自分の存在価値を感じる
- ・異なる年齢の人とのかかわりを増やす→体験を通して、他者への感謝、人とかかわる喜びを感じる
- ・奉仕活動（できれば親子で）に参加する→達成感、人の役に立つ存在であることを感じる
- ・家庭内での役割（手伝い等）を与える→家族の一員、家族から頼られていると感じる
- ・頑張ったことをきちんと褒める→頑張ったことが認められると「次も頑張ろう」と感じる

学校としては、「自己有用感」を高めることの必要性を感じています。上記内容を踏まえて学校でできることを行っていきます。家庭そして学校・地域が共通理解のもと実践できる特効薬は「褒める・認める」ことだと思います。

どちらの褒め方がよいでしょうか？

○「お手伝いできるなんて、いい子だね」

○「お手伝いしてもらったおかげで、とても助かったよ」

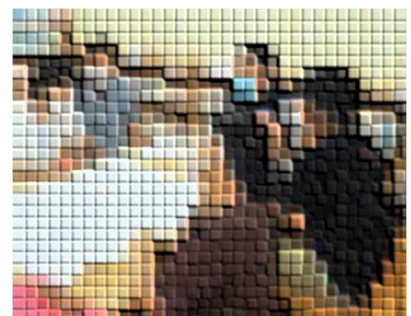
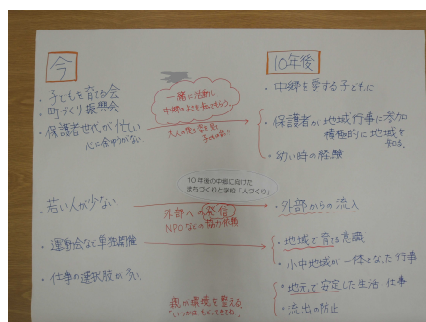
言葉かけに少し工夫を加えることで、生徒に自信をつけてもらう手助けができます。ほんの少し大人側の気持ちを変えるだけで、生徒の「幸福感（度）」を高めることになります。

これからの中郷区を担う生徒を、地域全体で育てていきましょう！

「自己有用感」を KEY に！

第2回学校運営協議会開催 9月9日(水)

今年度は、学校運営協議委員の皆様から、普段の学校の様子を見てもらうため、小・中学校それぞれの授業参観をした後に、協議会を行いました。協議会では、上越教育事務所社会教育課副参事（前中郷小学校長）の小林辰男様から「コミュニティ・スクールと『地域学校協働本部』とのかかわり」として、10年後の中郷に向けたまちづくりと学校『人づくり』という題でお話をいただきました。学校運営協議会の主体的な活動と持続可能なコミュニティ・スクールを目指すことを共有できました。また、今の中郷の課題と10年後の中郷について協議し、「まちづくりと学校」について熟議しました。



保護者アンケートの結果より

学校だより8月号でお知らせした保護者アンケートのスクールバスについてのご要望について、上越市教育委員会から回答が届きましたので、お知らせします。

【保護者からのご要望】

- ・スクールバスを冬期間だけでなく、オールシーズン運行していただきたいです。小学生まではあった。小学校と中学校は、隣接している。生徒数も減少している、熊がよく出るという点から、安全面を考慮し、運行をぜひ検討していただきたいです。
- ・登下校時のバスについて

【上越市教育委員会からの回答】

スクールバスの運行は、遠距離通学支援の手段の一つとして実施しております。

遠距離通学支援の対象は、原則として通学距離が小学生片道3km以上、中学生片道5km以上としており、小学生と中学生では対象となる通学距離が異なるため、小学校在学時に遠距離通学支援の対象（スクールバス、乗合タクシー利用への補助など）であっても、中学校では対象にならない場合があります。

また、生徒の通学における安全対策として、中郷中学校では、熊などの目撃情報の都度PTAメールによる情報提供、該当地区の生徒に注意を促す指導を行うとともに、普段から防犯対策も含め、下校の際は出来るだけ友人とまとまって帰るよう指導しております。各ご家庭におかれましても、登下校の安全対策について、危険箇所の確認や危険時の対応方法などを話し合っていたりなど、引き続きご指導くださるようお願いいたします。

大会の結果

■合同駅伝大会（9月24日）

女子Aチーム 12位 39分13秒

2区1位 3区2位

女子Bチーム 18位 44分57秒

男子Aチーム 2位 43分23秒

3区1位 4区1位 5区2位

男子Bチーム 11位 46分58秒

■新人各種大会（10月1日）

バレーボール部 1回戦 対妙高高原中 2対0で勝ち

2回戦 対柿崎中 0対2で惜敗

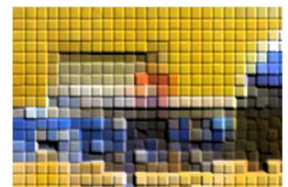
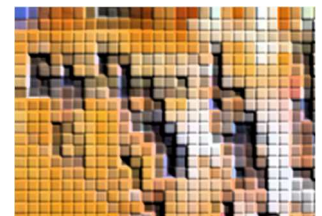
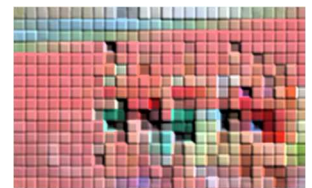
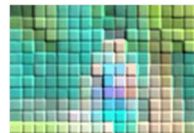
順位決定戦 対妙高中 0対1で惜敗

ブロック4位

卓球部 団体 1回戦 対雄志中 5対0で勝ち

2回戦 対城西中 0対3で惜敗 ベスト8

個人戦も行われ、みんな頑張っていました。



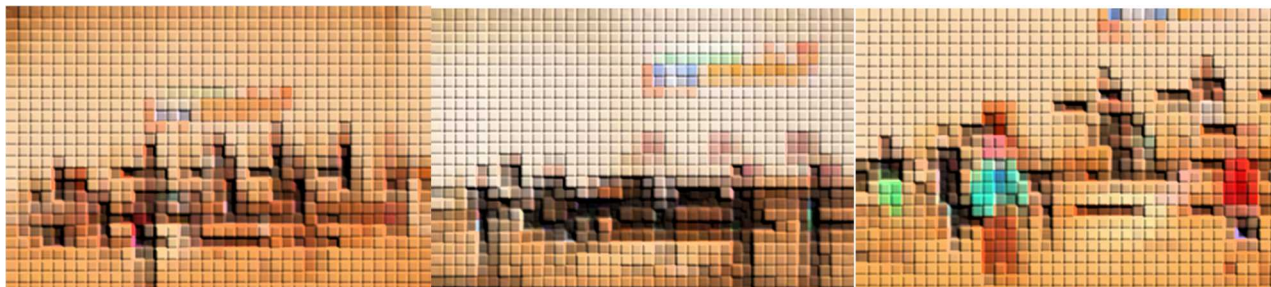
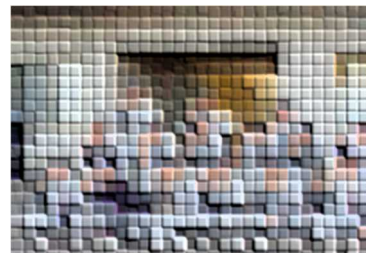
■新人各種大会（2日）

野球部 1回戦 対雄志中 0対9 惜敗

3位決定戦 対上教大附属中 4対19 惜敗

★吹奏楽部定期演奏会が11日に行われました。

1部：JAZZ ステージ、2部：3年生のためのステージ、
3部：ポップス・ステージの3部構成で、劇もあり、最初
から最後まで楽しい演奏会でした。



行事予定

11月

2日（月）～6日（金）チャレンジウィーク

2日（月）全校朝会・県駅伝大会壮行式、部落問題学習会、選挙管理委員会

4日（水）上進連テスト（3年生）、生徒会役員選挙公示

5日（木）生徒会選挙立候補受付開始、専門委員会

6日（金）県駅伝大会

7日（土）学び愛フェスタ（10:00～15:30 オンライン、オーレンプラザ）

テスト前部活動休止期間（～12日）、地区新人卓球大会（～8日）

10日（火）小中絆スクール集会

11日（水）市学校研一斉研修日（給食なし、3限後下校）

12日（木）2学期期末テスト（～13日）

13日（金）3学年PTA（進路説明会）

16日（月）生徒朝会、中郷小学校授業改善支援訪問（給食後終学活・下校）、
生徒会選挙立候補締め切り

17日（火）スクールカウンセラー相談日

25日（水）代議員会、中学校英語学力向上支援訪問

26日（木）歯科衛生士派遣事業（2年生：5限）

27日（金）生徒会役員選挙立会演説会・投票日

30日（月）全校朝会、PTA広報部会